

授業を支援するデジタル教科書

現場の先生方の実践をベースにした生活科教科書『あおぞら』『そよかぜ』に次のような3つの機能をつけたデジタル教科書を発行します。

指導計画作成資料

せいかつ

上 あおぞら

下 そよかぜ

- ①教科書紙面を自由に拡大縮小表示できる機能
- ②教科書紙面に自由に繰り返し書き込める機能
- ③教科書紙面に書き込んだ内容を保存・表示できる機能

使用場面に合わせて、以下の2種類を制作中です。(機能に差異はありません。)

学習者用デジタル教科書	指導者用デジタル教科書(教材)
<ul style="list-style-type: none"> ●タブレット等に表示して、児童一人一人が閲覧するデジタル教科書です。 ●法改正により、紙の教科書と併用して活用することが可能となりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電子黒板等に投影して、児童全員に提示するデジタル教科書です。 ※教師用指導書に添付されます。 ※児童用としてお使いいただくことはできません。

上記に加えて、教科書紙面にQRコードの掲載が認められ、リンク先から学習の参考になる資料(動画コンテンツなど)を、パソコンなどを使って見ることができます。(詳しくは、③ページ参照。)



子どもとともにつくる『くらし』を大切に
 子どもたちが手放せない、
 お気に入りの絵本のような教科書に

《目次》

- せいかつ 上『あおぞら』 下『そよかぜ』の特徴……………2
- 教科書の構成と単元の内容について……………4
- 令和2年度版 年間指導計画例……………10
- 学習指導要領との関連……………16
- 教師用指導書の紹介……………18

この資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則って作成し、配布を許可されているものです。

せいかつ 上『あおぞら』, 下『そよ かせ』の特徴

『あおぞら』『そよかせ』にこめた願い

「あおぞら」も「そよかせ」も心地よいものの象徴です。

「あおぞら」は、自分の目でとらえることができる対象です。青い空、白い雲、草花、モンシロチョウやカナヘビなどの小動物、大型動物のヤギとの出会い、新しい友だち…。

「そよかせ」は、目では見えないもの、自分のからだですとらえ、感じる対象です。爽やかな風とともに2年目の春を迎えた友だちとのつながり…。



上巻『あおぞら』の表紙は、入学したての子どもたちが、視界に広がる対象と五感を通してかかわり合うことを大切に、心とからだをひらいていってほしいという願いを表しています。

上 あおぞら



下巻『そよかせ』の表紙は、子どもたちがより一層視野を広げ、五感を研ぎ澄まして、人・もの・こととかかわってほしいという願いを表しています。

下 そよかせ

特徴

- ①学校の実践をもとにした編集
・生活科創設当初から、長年にわたる学校での実践をもとに編集してきました。
- ②子どもの生活に寄り沿った時系列による構成
・領域的なまとまりを大切にしながら、子どもの生活や活動・視野の広がりに合わせて、単元を時系列に配列しています。
- ③生活科の本質を見つめた編集
・子どもの願いや求めから始まる活動の中で育まれる学びや育ちの姿を明らかにしています。

編集にあたって大切にしたこと

～「人間愛」の育成を基本理念においた編集
子どもたちが手放せない お気に入りの絵本のような教科書に～

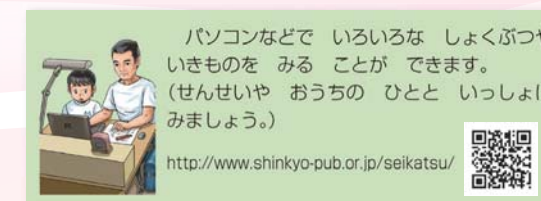
- ①地域に生まれ、地域に育つ子どもが、四季を通してその場所にかかわることを重視した内容構成
- ②活動の端緒や追究過程を大事に考えた単元の展開
- ③動・植物との継続的なかかわりを通して、命のドラマを体験できるような場面の表し方の工夫
- ④自分の生活・成長が自覚できるような振り返りの場面を設定
- ⑤スタートカリキュラム、各教科、総合的な学習の時間との関連や情報機器の利用

紙面構成にあたって配慮したこと

教科書のサイズがAB判となったことで、紙面にゆとりができ、より見やすく充実した紙面構成になりました。

情報機器の利用について

教科書の内容と関連する植物や生き物の図鑑へアクセスできるURL・二次元コードを巻頭に設けました。



教科書の構成と単元の内容について

(1) 領域的なまとまりとマーク



いつものばしょ

(上巻 P26)

身近な自然とかかわる暮らし

この領域では自然をめぐる「原体験」を大事にします。季節を越えて繰り返し野に出ることにより、その自然を心地よいと感じ、自然に応じる心と体を期待します。



いっぱいみのって

(下巻 P32)

植物や作物とかかわる暮らし

花や作物を大切に育てたり、自らの手で加工し食したりすることは、生活者としての原型です。アサガオやダイズ等を育て、それらを育ててきた自分や、支えてくれた人やものへの思いを深める姿を期待します。



物づくりを楽しむ

「てづくり おもちゃ」「すすめ すいすい号」「はしれ はしれ」は、身近な材料を使いながら、子どもたちの好奇心や冒険心・疑問を引き出すとともに、試行錯誤しながらも、動くおもちゃや自分たちが乗れる船を自分や自分たちの手で作り上げていく楽しさや達成感を味わうことを大切にしています。



伝統的な行事を味わう

「たんごのせっく」「たなばた」「おつきみ」「せつぶん」「ひなまつり」という五節句や祭りなど、伝統的な行事を取り上げました。

季節に寄せて、様々な行事を行ってきた人々の営みを実際に調べたり用意をしたりして行うことで、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできる姿を期待します。

学習指導要領に示された内容(8)「生活や出来事の伝え合い」は、それ自体を単元として取り上げていませんが、様々な単元のあらゆる場面で、地域の方や身近な幼児や高齢者、障がい者、外国籍の人などとの交流を通して、自分のありように気付いていく子どもの姿を示しました。



いきものといっしょ

(上巻 P44)

生き物とかかわる暮らし

多数の学校での実践の裏付けのもとに、ヤギを中核にウサギ・カナヘビなどを示し、1～2年と息の長い活動を大切に表しました。なお、下巻でも飼育活動の発展や体験を基にした表現の具体を示し、生き物と暮らしを共にすることの意味を考えてほしいと願っています。



わたしたちがすむ町

(下巻 P14)

地域の人やもの・こととかかわる暮らし

自分たちの住んでいる町に出かけ、そこで出会う人々や様々なもの・こととかかわることで、人々の思いや生き方、考え方、知恵などを学びながら、ふるさとのよさを感じ取ったり、共生社会の大切さに気付いていったりする姿を示しました。



自分の成長や活動を振り返る

自分の成長や活動の歩みを振り返ることは、自身の存在感を実感し、周りの人々への感謝の気持ちをもつとともに、これからの自分の生活を、より意欲的に充実させていこうとする育ちにつながります。そこで、「うれしいな いちねんせい」から「すごいね ぼくわたし」までの各単元の中で、様々な手がかりをもとに自身の成長を振り返るようにしました。

家族とかかわる

生活科の学習は、家庭においてもその営みは波及して、学んだことが生かされたり、家族が子どもの発見や気づきを共有し合ったり、育ちを認め合ったりする姿となって現れてきます。「わたしと かぞく」「大きくなった ぼく わたし」をはじめ、様々な学習場面で家族とのかかわりを位置付け、家庭に始まり家庭に帰る生活科のありようを示しました。

(2) 2年間の単元配列と内容

それぞれの単元名の色は、領域的なまとまりを表しています。(●は「自然・行事とかかわるくらし」、●は「動物・植物とかかわるくらし」、●は「人・ものとかかわるくらし」)

	春	夏	秋	冬	
一年	<p>うれしいな いちねんせい (あしたも がっこう いきたいな) 幼保小の円滑な連携が図られるよう、遊びを中核としながら学校生活での活動範囲や視野を広げていく姿をとらえた。 地域の人に見守られながらの登下校、遊びや学校探検などを通じた上級生や教職員との出会い、施設等の認知を通して、自らの手で生活圏を広げ、楽しく安心な学校生活を送れるようになる単元。</p> <p>はると なかよし 学校の行き帰りに見つけたものや、朝の会の話題などをきっかけに、春の野に繰り返し出かけ、からだごと春の自然事象とかかわったり春の恵みを食したりしながら、自然に対する感受性を磨いていく単元。</p> <p>わたしの あさがお 2年生から贈られたアサガオの種をきっかけに、自分たちの手で作った鉢に種をまき、発芽から開花までの成長を見続ける中で、アサガオへの親しみをもち、植物の命に触れていく単元。</p> <p>まぶしい なつ 夏の様々な事象にからだごと思い切りぶつかり、夏ならではの体験を重ねていく中で、友だちや自然とかかわりを深めていく単元。</p> <p>いきものと いっしょ② 生き物の成長に伴う変化に応じて、それにかかわる生活をよりよくしていく。ここでは、特に成長に伴う様々な変化に気付くとともに、みんなで協力して、生き物にとって具合のよい環境を考えながら、小屋等をつくり替えていくなど、よりよい世話を求めている単元。</p> <p>たんごの せっく いわれやり方を意欲的に調べたり、端午の節句にかかわる活動を通して、節句を祝ってくれる家族の気持ちや大事にされている自分を感じることができる単元。</p> <p>いきものと いっしょ① ヤギなどの生き物と直接かかわることを通して、それらも自分たちと同じように生命をもっていることを実感し、生命あるものへの慈しみの気持ちを深めていく単元。</p> <p>たなばた 七夕のいわれを知ったり、星の世界に浸ったりして、自分たちの願いをもって楽しい「たなばた」にしていく単元。</p>	<p>ひとつぶの たねから アサガオの花を咲かせ、種の数を数えたり、観察したり、花や葉の特性を生かした叩き出しや草木染めの作品を制作する中で、一粒の種のもつ生命に心を寄せるとともに日常生活を工夫して豊かにしていく単元。</p> <p>あきが いっぱい 秋の野に繰り返し出かけ、秋の自然とかかわりを深め、落ち葉や木の実などの感触を味わったり造形遊びやおもちゃ作りを楽しんだりするなど、情感豊かに表現していく単元。</p> <p>ふゆも きらきら 寒さも忘れ雪や氷と思い切り遊ぶ中で、冬ならではの楽しさを味わったり、お正月の伝承遊びや季節の行事を行ったりしながら、春への期待を膨らめていく単元。</p> <p>てづくり おもちゃ 身近な材料による、いくつかの手作りおもちゃに出会い、自分の興味に合わせて作っては遊び、遊んで作り直していく単元。</p> <p>せつぶん 節分について調べたり、地域に伝わる節分行事を体験したりして、自分たちの豆まき会を通して、自分のくらしぶりを振り返る単元。</p> <p>ひなまつり ひな祭りにかかわるいわれ調べや一連の活動を通して、ひな祭りを祝ってくれる家族の気持ち、大事にされている自分や自分自身の成長を感じることができる単元。</p>	<p>もう すぐ 二ねんせい できるようになったことなどわかりやすい成長だけでなく、目に見えにくい精神的成長までも含めて一年間を振り返ることで、自分自身に自信や希望をもつとともに、友や上級生、家族に感謝の気持ちをもつ単元。</p>		
二年	<p>二年目の 春 上級生になったよるこびを胸に登校し、新しい友との出会いや教室づくりから2年生をスタートさせていく。いつもの場所に出かけながら、1年生とは違う意欲的・自主的な姿をつかっていく単元。</p> <p>わたしたちが すむ 町 いつもの場所からその先へと興味関心を広げ、自分たちの住む町に繰り出し、調べたりかかわったりして、地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所とかかわっていることがわかり、人々と双方向のかかわりをもって接することで、地域の人々や地域に親しみや愛着をもっていく単元。</p> <p>いっぱい みのって 大豆が動物の食べ物になることや、様々な加工され日常の食生活に欠かすことのできない存在であることに注目して取り組む大豆栽培学習。成長の観察や地域の方への聞き取り、鳥虫害への対応など、課題を乗り越えていく単元。</p> <p>いきものと いっしょ③ 生き物とのくらしを重ねていく中で、新たな命との出会いをはじめ、様々な飼育活動を通して、より一層対象への思いを深め、ため込んでいく単元。</p>	<p>かがやく 夏 音を通して夏の風物詩を感じとりながら、日々のくらしや町の様子への視野を広げて自らの生活を豊かにしてゆく。また、地域の川で水遊びをしたり生き物を捕ったりする活動を通して、川と生き物とかかわりを深め、ふるさとの川への愛着をもつ単元。</p> <p>すすめ すいすい号 水遊びをきっかけに、自分たちが乗れる舟を作りたいと願い、その実現に向けて材料を集め、作っては試す活動を繰り返しながら制作していく。出航のときをみんなで迎え、成就感や冒険心を味わう単元。</p>	<p>いっぱい みのったね 自分たちが育ててきた大豆を収穫し、調理・加工して食したり、お世話になった方と収穫祝いをする中で、収穫のよるこびを実感していく単元。</p> <p>はしれ はしれ 身の回りにある材料を使って走る車を作る中で、より真っ直ぐに、より遠くまでという願いをもち、試しては作ることを繰り返して、車軸の位置や付け方などを工夫していく単元。</p> <p>いきものと いっしょ④ 生き物とともに過ごした日々を様々な表現活動を通して振り返り、共に育ててきた自分自身の成長を実感していく単元。</p> <p>みんなで 行こう 単元「わたしたちの すむ 町」の活動から視野を広げて生まれた新たな課題や願いに寄せた目的地に行くために、自分たちで準備して、その夢の実現を達成していく単元。</p>	<p>冬と お正月 お菜洗いなどの冬支度をきっかけにして、冬やお正月にまつわる行事を行い、伝統の中に存在する人々の知恵や心に触れ、生活を豊かにしていく単元。</p> <p>大きくなった ぼく わたし 小さいころを振り返ったり赤ちゃんを抱っこする体験をしたりする中で、自分の成長には多くの人々の支えがあったことを知り、感謝とよるこびをもって生活しようとする単元。</p>	<p>すごいね ぼく わたし (もうすぐ 三年生) 二年間の学級のあゆみや学習記録を振り返り、友や家族に支えられながら仲間とともに成長できたことを実感していく。二年間の中で見つけた自分のよさや可能性を生かし、3年生の生活に夢と希望を抱く単元。</p>

(3) それぞれの領域に含まれる単元一覧

○各単元がどの領域に掲載されているかを示しています。

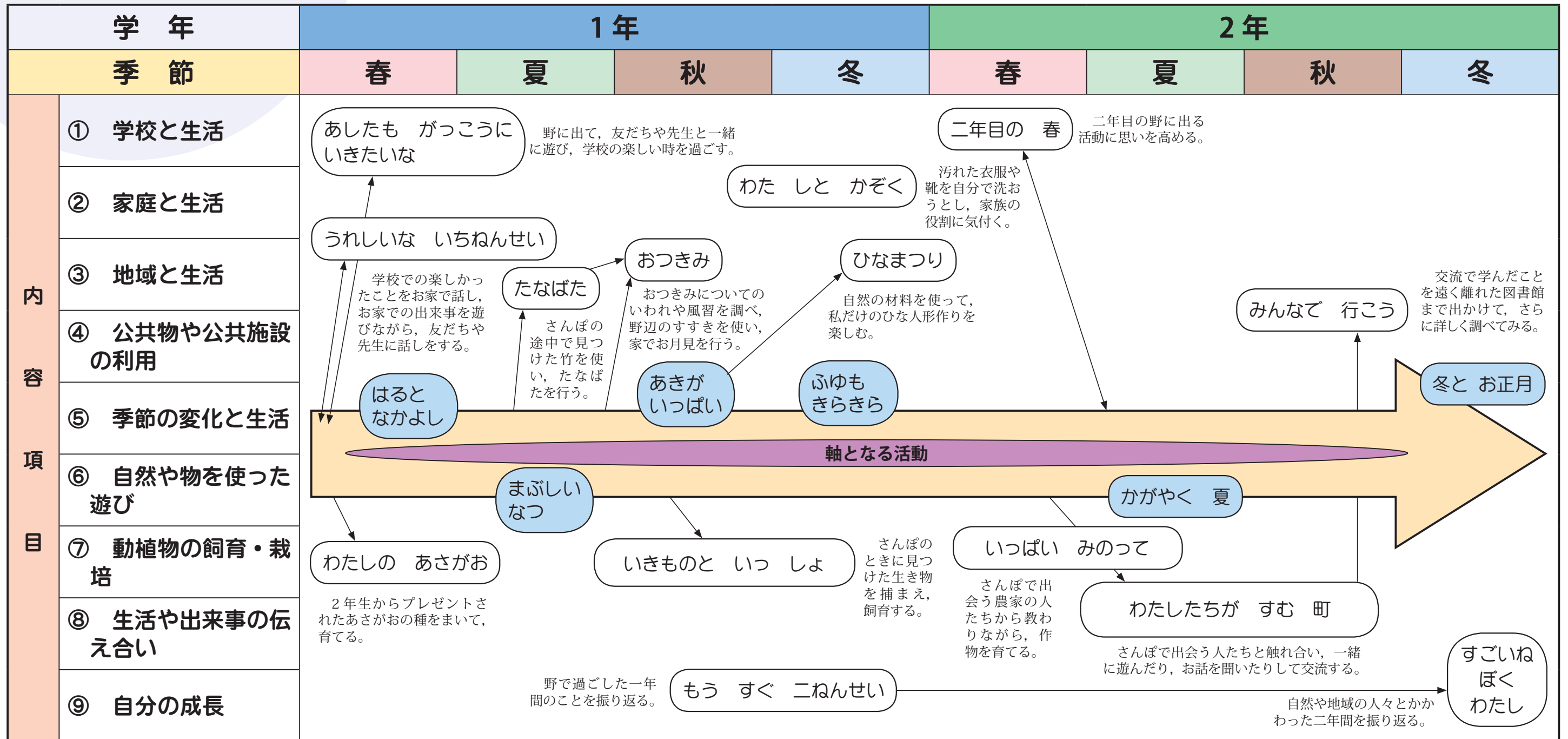
- 「自然・行事とかかわる暮らし」に掲載
- 「人・ものとかかわる暮らし」に掲載
- 「動物・植物とかかわる暮らし」に掲載

自然・行事とかかわる暮らし	・自然とかかわる ・行事とかかわる	はると なかよし ・いつもの ばしよ ・はるの さんぽみち ・はるの おくりもの	まぶしい なつ ・わあ きもちが いい ・いつもの ばしよ ・なつの さんぽみち ・あめふり ・あめあがり ・なつやすみ	あきが いっぱい ・いつもの ばしよ ・あきの さんぽみち ・あきの おくりもの ・あきと あそぼう ・いっしょに あそぼう	ふゆも きらきら ・いつもの ばしよ ・ふゆの さんぽみち ・ふゆも げんき ・とうじの ひ ・たのしい おしょうがつ ・おしょうがつの あそび ・はるの ななくさ ・おおゆきの ひに	二年目の 春 ・いつもの ばしよへ ・あそこに 行けば ・春の あじ ・たんぼぼの ふしぎ	かがやく 夏 ・いきものの いる 川 ・耳を すませば	冬と お正月 ・冬じたく ・年の くれ ・お年とりの じゅんぴ ・元日の 朝 ・かきぞめ ・小正月		
	たんごの せっく	たなばた	おつきみ ・おつきみ したいな ・おつきみ しよう ・きょうの つきは ・おつきみかい	せつぶん	ひなまつり					
人・ものとかかわる暮らし	・人とかかわる ・ものとかかわる	うれしいな いちねんせい ・きょうから いちねんせい ・おはようございます ・あそぼうよ ・さようなら ・きをつけて かえるよ ・がっこう たんけん ・ここは どこかな ・なかよしに なりたいな ・おはなし ききたいな ・こうていへ いこう ・みんなで はなそう	わたしと かぞく ・おしえて いえの こと ・わたしに できる こと ・できるように なったよ ・こうして みようかな	もう すぐ 二ねんせい ・だいじな おもいで ・こんな ことが あったよ ・ありがとう 一ねんかん	・新しい 教室 ・ことしの ねがい	わたしたちが すむ 町 ・みつけた ・こうみんかん ・ちいきの かたりべ ・つたえあおう ・みつめて みよう	みんなで 行こう ・どう やった ・ら 行けるか ・な ・しゅっぱつだ	大きく なった ぼく わたし ・わたしの たんじょう ・小さい ころの わたし ・大きく なって きた わたし ・ありがとう		
		てづくり おもちゃ			・すすめ すいすい号 ・ういた ういた ・ふねを つくりたいな ・どんな ふねに しようかな ・さあ のろう	はしれ はしれ	すごいね ぼく わたし ・楽しみだね 三年生			
								もうすぐ 三年生		
動物・植物とかかわる暮らし	・動物とかかわる ・植物とかかわる	いきものと いっしょ① ・かって みたいな ・きょうから いっしょ ・よろこんで くれるかな	いきものと いっしょ② ・きょうも げんきかな ・やりたい こと いっぱい ・さあ おはいいり ・さむく なって きたね	いきものと いっしょ③ ・おかあさんに なったんだね ・きょうも あいたいよ	いきものと いっしょ④ ・いつも いっしょだったね	わたしの あさがお ・どんな はなが さくのかな ・めを だしてね ・あっ めが だた ・おおきく なって きたね ・わあ さいた	ひとつぶの たねから ・きれいだな ・のこしたいな	いっぱい みのって ・だいずを そだてたいな ・はたけづくり ・たねまき ・あれっ ・だいずの おせわ ・まめの 赤ちゃん	・はたけを かして ください ・まめは 生きて いる ・あっ めが 出る ・大きく なった だいず ・かわいい 花だね	いっぱい みのったね ・だいずの しゅうかく ・何が つくれそうかな ・生まれかわる だいず ・しゅうかくいわい

令和2年度版 年間指導計画例

6～7ページに教科書の2年間の単元配列と内容を示しましたが、これをすべて順番に扱おうとすると、時数不足や、子どもが主体となる単元展開にならないことが考えられます。教科書に示された内容を網羅的に扱うのではなく中心的な活動を軸に学習を展開していても、学習指導要領に示された内容9項目を押さえることができます。そんな例として3つの指導計画例を載せました。それぞれの自校の地域の実情・児童の実態に応じて、学級ごとに指導計画案が立てられることが大切です。

(1) 「自然とかがわる（野に出る）暮らし」を中心とした年間指導計画例



(2) 「行事とかかわる暮らし」を中心にした年間指導計画例（1年生）

【内容項目】 ①学校と生活 ②家庭と生活 ③地域と生活 ④公共物や公共施設の利用 ⑤季節の変化と生活 ⑥自然物を使った遊び ⑦動植物の飼育と栽培 ⑧生活や出来事の伝え合い ⑨自分の成長

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 時数	標準 時数																																														
生活科 (学級の軸となる活動)	<p>自らの生活を豊かにしていくために低学年の時期に体験させておきたい活動に関する内容</p> <table border="1"> <tr> <th>学習対象・学習活動等</th> <th>思考力、判断力、表現力等</th> <th>知識及び技能等の基礎</th> <th>学びに向かう力、人間性等</th> </tr> <tr> <td>(5) 身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわったりする活動を行う。</td> <td>○それらの違いや特徴等を見付ける。</td> <td>○自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることに気付く。</td> <td>○それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。</td> </tr> <tr> <td>(6) 身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を行う。</td> <td>○遊びや遊びに使う物を工夫してつくる。</td> <td>○その面白さや自然の不思議さに気付く。</td> <td>○みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。</td> </tr> </table>						学習対象・学習活動等	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能等の基礎	学びに向かう力、人間性等	(5) 身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわったりする活動を行う。	○それらの違いや特徴等を見付ける。	○自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることに気付く。	○それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。	(6) 身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を行う。	○遊びや遊びに使う物を工夫してつくる。	○その面白さや自然の不思議さに気付く。	○みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。	<p>具体的な視点</p> <p>キ 身近な自然との触れ合い：身近な自然を観察したり、生き物を飼ったり、育てたりするなどして、自然との触れ合いを深め、生命を大切にすることができるようにする。</p> <p>ク 時間と季節：一日の生活時間や季節の移り変わりを生かして、生活を工夫したり楽しくしたりすることができるようにする。</p> <p>ケ 遊びの工夫：遊びに使う物を作ったり遊び方を工夫したりしながら、楽しく過ごすことができるようにする。</p>						90	102																																		
	学習対象・学習活動等	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能等の基礎	学びに向かう力、人間性等																																																								
(5) 身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわったりする活動を行う。	○それらの違いや特徴等を見付ける。	○自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることに気付く。	○それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。																																																									
(6) 身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を行う。	○遊びや遊びに使う物を工夫してつくる。	○その面白さや自然の不思議さに気付く。	○みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。																																																									
<table border="1"> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ぎょうじ 〜どんな ぎょうじが あるのかな〜 ② ③ ⑤</td> <td colspan="13"> <p style="text-align: center;">ぎょうじを とことん たのしんじゃおう 大きくせん</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>たごのせつく⑤②③ (10)</p> <p>こいのぼりをつくろう</p> <p>くさだんごをつくろう</p> <p>しょうぶのはっばって?</p> </td> <td> <p>たなばた⑤⑥⑧ (12)</p> <p>あさつゆあつめ</p> <p>たなばたかざりをつくろう</p> <p>たなばたのげきをやろう</p> <p>ねがいよ 天まで とどけ</p> </td> <td> <p>けいろうの日 ②③⑧ (9)</p> <p>おじいちゃんたちのすきな〇〇をしらべよう</p> <p>おじいちゃんがよくぶプレゼントを作ろう</p> </td> <td> <p>お月見⑤③⑧ (11)</p> <p>夜、かせんじきで月を見よう</p> <p>月見だんごを作ろう</p> <p>月見かざりってどうする？</p> </td> <td> <p>年まつ・年し⑤①② (5)</p> <p>一年のよごれをとろう</p> <p>お正月のあそびをしよう</p> <p>書きぞめをしよう</p> </td> <td> <p>せつぶん⑤⑧ (10)</p> <p>おにをつくるぞ</p> <p>まめまきしよう</p> </td> <td> <p>もものせつく ②⑤⑨ (10)</p> <p>ひなにんぎょうをつくろう</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="13"> <p style="text-align: center;">ぎょうじにつかう やさいを そだてよう⑦③ (13)</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="13"> <p style="text-align: center;">じぶんのすきな やさいを そだてよう⑦③② (10)</p> </td> </tr> </table>														ぎょうじ 〜どんな ぎょうじが あるのかな〜 ② ③ ⑤	<p style="text-align: center;">ぎょうじを とことん たのしんじゃおう 大きくせん</p>													<p>たごのせつく⑤②③ (10)</p> <p>こいのぼりをつくろう</p> <p>くさだんごをつくろう</p> <p>しょうぶのはっばって?</p>	<p>たなばた⑤⑥⑧ (12)</p> <p>あさつゆあつめ</p> <p>たなばたかざりをつくろう</p> <p>たなばたのげきをやろう</p> <p>ねがいよ 天まで とどけ</p>	<p>けいろうの日 ②③⑧ (9)</p> <p>おじいちゃんたちのすきな〇〇をしらべよう</p> <p>おじいちゃんがよくぶプレゼントを作ろう</p>	<p>お月見⑤③⑧ (11)</p> <p>夜、かせんじきで月を見よう</p> <p>月見だんごを作ろう</p> <p>月見かざりってどうする？</p>	<p>年まつ・年し⑤①② (5)</p> <p>一年のよごれをとろう</p> <p>お正月のあそびをしよう</p> <p>書きぞめをしよう</p>	<p>せつぶん⑤⑧ (10)</p> <p>おにをつくるぞ</p> <p>まめまきしよう</p>	<p>もものせつく ②⑤⑨ (10)</p> <p>ひなにんぎょうをつくろう</p>	<p style="text-align: center;">ぎょうじにつかう やさいを そだてよう⑦③ (13)</p>													<p style="text-align: center;">じぶんのすきな やさいを そだてよう⑦③② (10)</p>												
ぎょうじ 〜どんな ぎょうじが あるのかな〜 ② ③ ⑤	<p style="text-align: center;">ぎょうじを とことん たのしんじゃおう 大きくせん</p>																																																											
	<p>たごのせつく⑤②③ (10)</p> <p>こいのぼりをつくろう</p> <p>くさだんごをつくろう</p> <p>しょうぶのはっばって?</p>	<p>たなばた⑤⑥⑧ (12)</p> <p>あさつゆあつめ</p> <p>たなばたかざりをつくろう</p> <p>たなばたのげきをやろう</p> <p>ねがいよ 天まで とどけ</p>	<p>けいろうの日 ②③⑧ (9)</p> <p>おじいちゃんたちのすきな〇〇をしらべよう</p> <p>おじいちゃんがよくぶプレゼントを作ろう</p>	<p>お月見⑤③⑧ (11)</p> <p>夜、かせんじきで月を見よう</p> <p>月見だんごを作ろう</p> <p>月見かざりってどうする？</p>	<p>年まつ・年し⑤①② (5)</p> <p>一年のよごれをとろう</p> <p>お正月のあそびをしよう</p> <p>書きぞめをしよう</p>	<p>せつぶん⑤⑧ (10)</p> <p>おにをつくるぞ</p> <p>まめまきしよう</p>	<p>もものせつく ②⑤⑨ (10)</p> <p>ひなにんぎょうをつくろう</p>																																																					
	<p style="text-align: center;">ぎょうじにつかう やさいを そだてよう⑦③ (13)</p>																																																											
	<p style="text-align: center;">じぶんのすきな やさいを そだてよう⑦③② (10)</p>																																																											
各教科領域との関係	えをみてはなそう (国語)	おもいだしてはなそう (国語)	10をこえる数 (算数)	水に触れる遊び 浮く・もぐる遊び (体育)	なつやすみのことをはなそう (国語)	ゆうやけ (国語) ひかりのおくりもの (図工)	ざの	いりょうへんしん (図工)	ともだちにきいてみよう (国語)	お話や文しょうを書こう (国語)	どうぶつのお赤ちゃん (国語)	音楽を楽しもう (音楽)	いいこといっぱい1年生 (国語)																																															

(3) 「動物とかがわるくらし」を中心にした年間指導計画例

【内容項目】 ①学校と生活 ②家庭と生活 ③地域と生活 ④公共物や公共施設の利用 ⑤季節の変化と生活 ⑥自然物を使った遊び ⑦動植物の飼育と栽培 ⑧生活や出来事の伝え合い ⑨自分の成長

学年	生活科年間計画	14											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一年生	学習計画												
	つきたい力	<p>友だちと協力しながら、田中さんの牧場へ行く計画を立てることができる。</p> <p>公共施設などの正しい使い方やその場に合った人との接し方を身につけることができる。</p> <p>クラスで飼いたい動物について、友だちと気持ちを伝え合いながら決め出すことができる。</p> <p>相手に自分の気持ちや思いをわかりやすく伝えることができる。</p> <p>自分の考えを伝え、それに対する返答について、さらに自分の考えを深めることができる。</p> <p>身の回りや自然と触れ合いながら、子ヤギたちと遊ぶことができる。</p> <p>親ヤギや子ヤギの立場に立って相手に寄り添って考えることができる。</p> <p>ゆきのためになることを考え、自分なりにかかわったり取り組んだりすることができる。</p> <p>健康観察や柵作りをはじめ、普段の世話を友だちと協力し合いながら行なうことができる。</p> <p>ゆきの成長をよるこびながら、ゆきの様子をあたたく見守ることができる。</p> <p>ゆきの結婚のための準備を考えたり、無事に結婚生活が送れるように世話したりできる。</p> <p>自分たちの活動を振り返り、相手に思いが伝わるようにまとめたり、発表したりできる。</p>											
二年生	学習計画												
	つきたい力	<p>地域の人々との接し方を考えながら、安全で楽しい春探しの計画を立てることができる。</p> <p>ゆきの妊娠を通して、命の尊さを感じ、さらにゆきを大事にする気持ちをもつことができる。</p> <p>身近な材料や道具を工夫して、正しく使いながら、ゆきしろランドをつくり遊ぶことができる。</p> <p>しろの誕生を機に、命のつながりと親子の絆を実感することができる。</p> <p>暑い夏を乗り切るために、親子の様子をよく見て世話ができる。</p> <p>花の苗を育て、町の人や苗店に買ってもらったり、町の方々に赤ちゃんのことや花の苗の売れ具合を伝えよう。</p> <p>育て、準備や計画を立てることができる。</p> <p>しろの世話をし、ゆき親子の生活を見つめ直すことができる。</p> <p>ゆき親子に、さらにおいしいえさや温かい住まいを準備するための資金を得る活動に取り組むことができる。</p> <p>ゆき親子にまつわる発見や気づきを友だちに伝えたり、自分の考えを主張できたりすることができる。</p> <p>ゆき親子との生活の中での自分の思いを様々なかたちで表現することができる。</p> <p>ヤギのことで、お世話になった方へ手紙を書いたり、記念の本作りに取り組んだりすることができる。</p> <p>自分たちの活動を振り返り、共に成長をよるこび合い、ゆき親子に感謝の気持ちをもつことができる。</p>											

学習指導要領との関連

★年間計画の作成にあたっては、全単元を網羅的に扱うのではなく、2年間で学習指導要領の9つの内容を扱うことを前提に、地域、学校、学級の実態を考慮して学習活動を設定してください。

★内容項目については、中心になるものを太ゴシックで表しています。教師が子どもとともに学習をつくっていく立場から、単元によっては右に示す内容以外の組み合わせも考えられます。

学習指導要領に示された学年の目標

- (1) 学校、家庭及び地域の生活に関わることを通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考えることができ、それらのよさやすばらしさ、自分との関わりに気付き、地域に愛着をもち自然を大切にしたり、集団や社会の一員として安全で適切な行動をしたりするようにする。
- (2) 身近な人々、社会及び自然と触れ合ったり関わったりすることを通して、それらを工夫したり楽しんだりすることができ、活動のよさや大切さに気付き、自分たちの遊びや生活をよりよくするようにする。
- (3) 自分自身を見つめることを通して、自分の生活や成長、身近な人々の支えについて考えることができ、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活するようにする。

学習指導要領に示された内容項目

- (1) 学校と生活
- (2) 家庭と生活
- (3) 地域と生活
- (4) 公共物や公共施設の利用
- (5) 季節の変化と生活
- (6) 自然や物を使った遊び
- (7) 動植物の飼育・栽培
- (8) 生活や出来事の伝え合い
- (9) 自分の成長



1年上巻『あおぞら』

	単元名	学習指導要領	
		学年の目標	内容項目
春	1 うれしいな いちねんせい	(1)	(1) (4) (8)
	2 はると なかよし	(2)	(5) (6) (8)
	3 たんごの せっく	(2)	(5)
	4 わたしの あさがお	(2)	(7)
	5 いきものと いっしょ①	(2)	(7)
夏	6 たなばた	(2)	(5)
	7 まぶしい なつ	(2)	(5) (1) (6) (8)
	8 ひとつぶの たねから	(2)	(7) (6)
秋	9 いきものと いっしょ②	(2)	(7)
	10 おつきみ	(2)	(5)
	11 あきが いっぱい	(2)	(5) (6) (8)
	12 わたしと かぞく	(3)	(2)
	13 ふゆも きらきら	(2)	(5) (1) (6)
冬	14 せつぶん	(2)	(5)
	15 てづくり おもちゃ	(2)	(6)
	16 ひなまつり	(2)	(5)
	17 もう すぐ 二ねんせい	(3)	(9) (8)

2年下巻『そよかぜ』

	単元名	学習指導要領	
		学年の目標	内容項目
春	1 二年目の 春	(1) (2) (3)	(5) (7)
	2 わたしたちが すむ 町	(1) (2)	(3) (4) (8)
	3 いきものと いっしょ③	(2)	(7)
	4 いっぱい みのって	(2)	(7)
夏	5 かがやく 夏	(2)	(5) (7)
	6 すすめ すいすい号	(2)	(6)
	7 いっぱい みのったね	(1) (2)	(7) (8)
秋	8 みんなで 行こう	(1)	(4) (3)
	9 冬と お正月	(2)	(5) (2) (3)
冬	10 はしれ はしれ	(2)	(6)
	11 いきものと いっしょ④	(2) (3)	(7) (9)
	12 大きく なった ぼく わたし	(3)	(9) (8)
	13 すごいね ぼく わたし	(3)	(9) (8)

教師用指導書の紹介

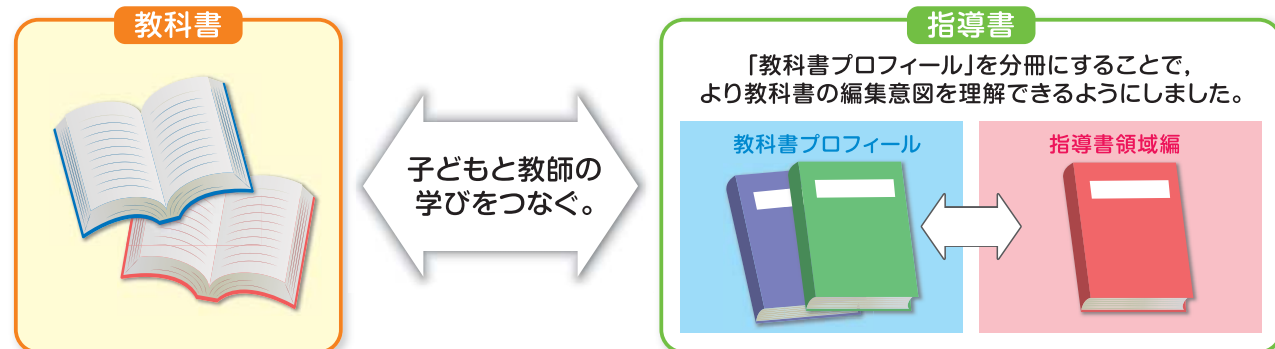
令和2年度版 指導書編集の基本方針

- ★全編を貫く指導理念を「人間愛」の育成において編集し、人やもの、生き物への思いを深め、かけがえない関係を学ぶ子どもの姿を記しました。
- ★地域の自然や社会における暮らしの中で、直接体験を重視し、自然や社会のすばらしさ、人の営みから生活の知恵を学ぶ子どもの姿を記しました。
- ★子どもの願いや求めから始まる活動の中で生まれる、学びや育ちの姿を記しました。

(1) 充実した指導書に

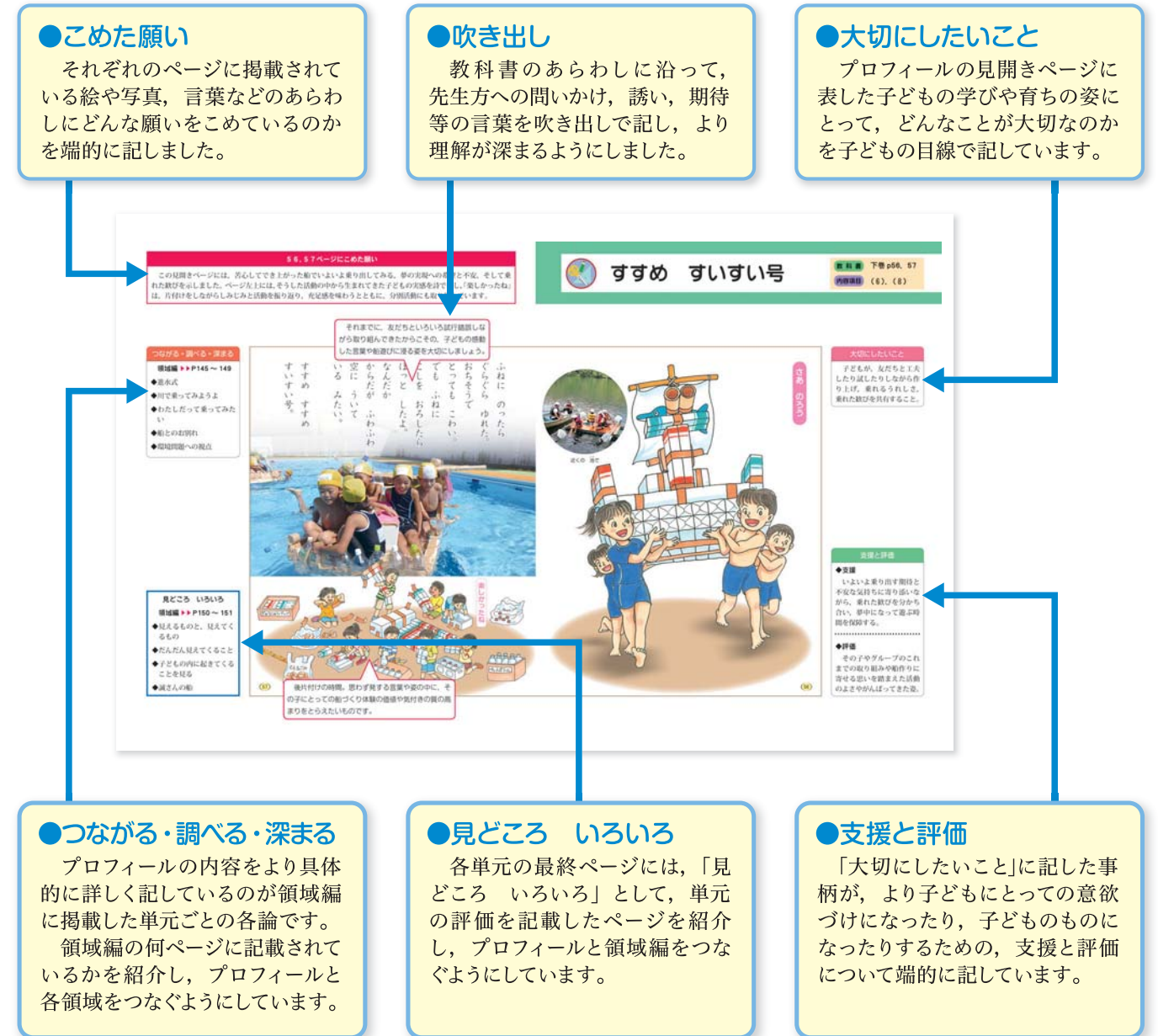
- ①問題提起的で示唆に富んだ単元や学習活動例を、学校の実践をもとに編集しています。
- ②教科書が時系列であるのに対し、指導書は領域的なまとまりを大切にしています。
- ③教師自らが、内容や方法を発見的につくっていけるように、問題提起したり、触発したりできるような内容にしています。
- ④教師の学習観や教材観を見つめ直し、子どもの学びとは何かを問いながら、子どもの姿をとらえ、評価し、支援する教師の内面を盛り込むようにしています。
- ⑤実践する先生方の主体的な教材研究を大切にするとともに、その学校その学級の子どもの実態にあった素材の教材化ができるように編集しています。
- ⑥上下分冊にして、活用しやすい「教科書プロフィール」を新しく制作し、教科書と指導書領域編をつなぐ内容に編集しています。

【新しくなる教科書と指導書のつながり】



(2) 新しい「教科書プロフィール」について

「教科書プロフィール」には、先生がいつも手元に置いて、明日の授業構想やこれからの活動への見通しを思い描けるように各ページにこめられた願いを端的に記し、先生方の実践により役立つ情報を提供しています。



※編集中のため、内容や構成は予告なく変更する場合があります。